

教科目名 情報工学 (Information Engineering)

学科名・学年 : 機械工学科 4年 (教育プログラム 第1学年 科目)

単位数など : 必修 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 徳安達士

授業の概要				
<p>情報を処理するということは、特定の事象に関する情報を取得して、他人が理解しやすいように情報を加工することである。また、情報通信とは、加工された情報を適切な方法で有限時間内に他者に伝達することである。情報工学では、インターネット、新聞、文献などの膨大な資料に基づき、パワーポイントを使った資料作りとプレゼンテーション技法について理論と実践を交えて身に付ける。また、調査した情報に関する文書の作成方法について理解する。</p>				
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2), JABEE 目標(c)(d(1)) (g)		
<p>(1) 画像データの構造と加工方法, 動画ファイルの構造と編集方法について理解できる。(定期試験と課題演習) (2) ある事象に関する適当な情報を信頼できる場所から取得できる。(定期試験と課題演習) (3) 聴講者の理解度を意識したプレゼンテーション資料を作ることができる。(定期試験と課題演習) (4) プレゼンテーション資料の概要書を作ることができる。(定期試験と課題演習)</p>				
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検	
1	Microsoft Power Pointの導入	情報化社会におけるプレゼンテーションの意義について	【理解の度合い】	
2	デザインの4大原則	整列, 近接, 反復, 対比の重要性		
3	Power Pointの基本的な操作手順	Power Pointの基本的な操作方法について演習を通して理解する		
4-5	発表資料作成	班に別れ, 与えられた議題について7分間のプレゼンテーション資料を作成する		
6-7	プレゼンテーション	作成した資料に基づき, 班毎に7分間の発表を行う		
8	前期中間試験			【試験の点数】 点
9	前期期末試験の解答と解説			【理解の度合い】
10	Microsoft Wordの導入 技術論文の書き方	プレゼンテーションには, A4紙1枚程度の概要文書が付き物である。この文書の重要性について理解し, 正しい作成方法について理解する。	【理解の度合い】	
11-12	発表資料作成	班毎に与えられたテーマで概要文書とプレゼンテーション資料を作成する。		
13-14	プレゼンテーション	作成した資料に基づき, 班毎に7分間の発表を行う。		
15	前期期末試験			【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説			
履修上の注意	Power Point を使ったプレゼンテーションまたは技術文書の作成は、現代社会を生きる技術者には避けて通れない仕事であると言い切れます。夏休みのインターンシップだけでなく、進学・就職後を見据えてスキルアップしてください。		【総合達成度】	
教科書	担当教員が作成した資料に基づいて実施する			
参考図書	なし			
関連科目	情報処理 , 情報処理 , 情報工学, メカトロニクス			
総合評価	達成目標の(1)~(4)について, 2回の試験と課題で評価する。定期試験の成績(60%)およびレポート・課題の提出(40%)により評価する。			【総合評価】 点